

No.54

■発行/奈良市議会
■編集/奈良市議会だより
編集委員会

奈良市議会だより



〒630-8580 奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎(0742)34-4734



満開の桜の中、ジョギングを楽しむ(鴻ノ池運動公園)

3月定例会

平成10年度予算原案どおり可決 一般会計4.2%減の緊縮型

平成10年度一般会計予算		予算額 (千円を四捨五入)	対前年度比 (▲はマイナス)	市民一人当たり (4月1日現在)
		1089億円 ▲ 4.2%		298,883円
【歳入】	税	622億円 ▲ 0.9%		170,820円
市	(うち市民税)	327億円 ▲ 5.7%		89,791円
市	債	154億円 ▲ 13.5%		42,383円
国庫支出金		115億円 ▲ 9.1%		31,431円
県支出金		39億円 ▲ 16.3%		10,819円
その他				
【歳出】	費	262億円	1.3%	71,966円
民生	費	216億円	0.7%	59,268円
教	費	200億円 ▲ 23.9%		54,906円
土	費	116億円	6.3%	31,791円
公	費	115億円	5.1%	31,599円
総	費	103億円 ▲ 1.0%		28,280円
衛	費			
その他		77億円		

今定例会で審議された平成10年度予算は、一般会計が千八百九億円で前年度の当初予算と比べて四・二%の減、十特別会計が六百四億三千十万円で一・九%の増、水道事業など三公営企業会計で百六十九億七千三百七十万円で七・六%の減、総額は千八百六十三億三百八十万円となり前年度比二・六%の減で、昭和五十二年度以来二十一年ぶりのマイナス予算となっています。市長は、提案説明で「奈良市は、本年二月一日をもって百周年を迎えることができました。私たちは、百年に一度というこの大きな節目に出会うことのできた喜びを大切にし、先人の築いてこられた偉大な財産をしっかりと受け継ぎ、次の百年に向かってさらに発展するよう市民皆様と手を携え、まちづくりを進めたい」と決意を述べました。

次の100年へ向け、発展を 総額一八六三億余円の予算

平成十年三月定例会は、三月十日から二十六日までの十七日間の会期で開きました。この定例会では、大川市長から平成十年度一般会計、十特別会計、三公営企業会計の予算案など六十六件、また、議員から意見書一件が提出され、すべて原案どおり可決しました。なお、七人の議員から提出された、なら100年会館条例の制定に対する修正案は、否決しました。

財政

次の100年に向かって飛躍の姿勢
平成10年度予算編成で配慮

問 平成10年度予算編成で配慮した点は。
答 人件費、扶助費、公債費を合わせた義務的経費は、前年度から二・七%増え、一般会計全体に占める割合は四四・三%となっている。行政のリストラという観点から、人件費など義務的経費の削減に、どう取り組むのか。
答 厳しい社会情勢ではあるが、市の将来都市像を定めた基本計画に基づく予算編成をした。市制百年を迎え、次の百年に向かって飛躍する姿勢で予算計上している。そのため、財源の確保に使用料・手数料の改定を行い、事務事業の見直しや節約運動で九億六千七百万円の財源をねん出した。
リストラのできるものは、

公債費、依然増加
繰り上げ償還検討

問 公債費が依然増加している。今後の見通しと市債の繰り上げ償還の考えは。
答 厳しい経済情勢下ではあるが、二十一世紀を見据えた都市基盤整備や市民生活に必要な事業が滞ることは許されず、市債の活用により事業を推進している。しかし、公債費の増加は、財政の硬直化を招くので十分配慮しながら財政運営

をしたい。繰り上げ償還は、財源の問題もあり、十分検討していかねばならないと思っている。
問 公債費が依然増加している。今後の見通しと市債の繰り上げ償還の考えは。
答 厳しい経済情勢下ではあるが、二十一世紀を見据えた都市基盤整備や市民生活に必要な事業が滞ることは許されず、市債の活用により事業を推進している。しかし、公債費の増加は、財政の硬直化を招くので十分配慮しながら財政運営

都市整備

街づくり計画の見直し

問 J.R奈良駅前の街づくり、西大寺駅北側の街づくり計画の見直しは。
答 現在の経済情勢を考えると、高度情報センター、複合交通センターについては、一定の見直しを図っていかねばならないと考えている。駅東側のホテル街区は、当初方針通り誘致を図っていく。市街地再開発事業の第二街区については、四月にオープンする第一街区の事業経費も踏まえて、権利者と協議に入りたいと思っている。
近鉄西大寺駅北地区再開発事業は、権利者と協議中だが、難しい状況にある。平成十年度は、事業手法等について見極めのときではないかと

併 答 と 問 質 本 会 議
厳しい経済状況の中で
基本計画に基づき予算計上

三月十三日、十六日、十七日の本会議では八人の議員(うち代表質問五人)が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、厳しい経済状況の中で編成された平成十年度予算案や市長の施政方針に質問が集まりました。以下は、本会議での質問と答弁の要旨です。

問 都市計画を進める上で、これからの行政と住民の役割、相互の連携について考えは。
答 今までの都市計画は、行政が主体となり、住民に協力を求め、住民は意見をいうといったケースが多かった。今後、行政側としては、プランづくりの段階から住民が参加し合意形成を深めていける体制づくり、住民側としては、責任と義務をもつて参加し行政と共に力を合わせようとする意識が必要である。また、行政と住民が新しいパートナーシップを築くことが大切であり、今回策定した都市計画マスタープランの実現においても、市の実情に即したまちづくり支援体制のあり方を検討していきたい。

木造密集地域を
災害に強いまちに

問 過日の中新屋町、西木辻町の火災は、木造密集地域で発生した。木造建築物密集地域における災害に強いまちづくりが必要ではないか。
答 防災上危険な木造密集



木造建築物密集地域(ならまち)

確保されない
集会所用地

問 あやめ池南七丁目で十五年前に開発を行った業者は、開発指導要綱に基づく市との協議で集会所用地を提供することになっていたが、未だその用地が確保されていない。約束不履行ではないか。この業者は、以後も同地域で開発を行っている。どのような指導をしてきたのか。
答 昭和五十八年に五十一戸の開発が行われ、その時、開発指導要綱に基づき集会所用地の確保が義務づけられた

意見書

今定例会で可決し、政府に提出した意見書は次のとおりです。
▽地方分権に伴う地方自治体への税源移譲等に関する意見書
国と地方の税収配分のあるり方が、地方の中央依存姿

浅川議長、4千5百人を前にあざむき
100周年記念式典、盛大に開催

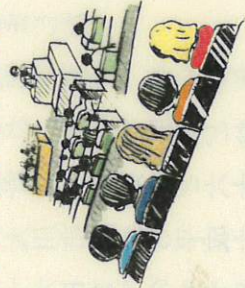
二月一日、奈良市は市制百年を迎え、中央体育館での記念式典は、国内外の姉妹都市・友好都市の市長、市議会議長や関係者、来賓、市民など約四千五百人の参加を得て盛大に開催されました。
式典に出席した浅川清一議長は、あいさつで、「私たちの子孫のために、夢と希望あふれる未来に向かう

が、同予定地は他に売却された。その後、他の開発行為が出された時、指導すべきだったと思うが、五十戸以下の開発で、集会所を必要としないことから、指導を誤ったのではないかと反省している。
昨年七月、別な場所に集会所用地の協定をしているので、地元の詳細を得ながら、確保していきたい。

勢や画一的行政など、地方自治本来のあり方をゆがめてきた。真の地方分権には、権限の移譲と税源の移譲は切り離すことはできない。
よつて、税源の移譲並びに補助金の適正化を速やかに図られるよう強く要望する。

本会議を
傍聴
してください

本会議は年四回(三月、六月、九月、十二月)開きます。
傍聴に関する手続き、日程は議会事務局(☎三四四七三三)へお問い合わせください。



福祉

所得制限の緩和を

老人医療費無料制度

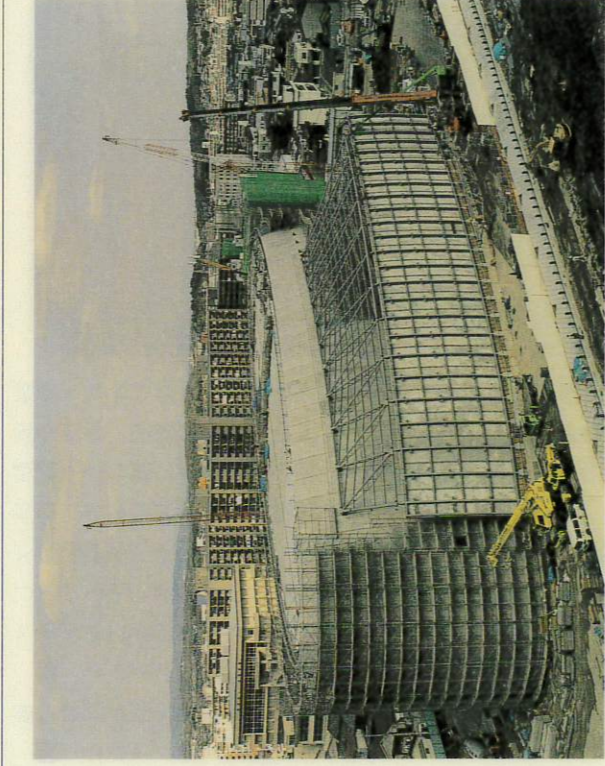
問 昨年九月の医療制度改革で患者の医療費負担が増え、高齢者の生活や命が脅かされている。六十五歳以上の老人医療費無料制度の所得制限を緩和してはどうか。また、長期入院で高額療養費支給の対象となる場合、七十歳以上は老人保健医療が適用され、七十歳未満の人より負担が多くなるという逆転現象が起きて

いる。市で助成できないか。
答 老人医療費助成制度は、市民税所得割非課税世帯を対象とする県下統一の制度であり、市独自の基準を設けるのは難しい。なお、老人医療費助成制度の今後のあり方については、県の福祉医療検討委員会にて検討中である。また、老人保健の入院時一部負担金と医療保険の高額医療費支給

問 新年度予算で商工費が一・五%、観光費が一七・一%前年度より増えている。具体的な施策と取り組みは。
答 朱雀門・東院庭園復元記念イベント終了後、継続した朱雀門のライトアップ、隣接緑地公園への公衆便所、休憩所の設置を行い、訪れる人がゆつくり楽しめるスペースを確保する。
また、CD-ROM(読み

観光

コンベンション誘致拡大 なら100年会館開館で



来年2月開館予定の「なら100年会館」

出し専用メモリー)や写真集、ポスターによる情報を発信して観光誘致に努め、受け入れ対策として、観光センターを改装して観光情報提供機能の充実に努め、ボランティア

との間で起きている矛盾については、整合性を図るよう県を通じて国に要望している。

子育て支援の課題を検討 庁内検討委員会で

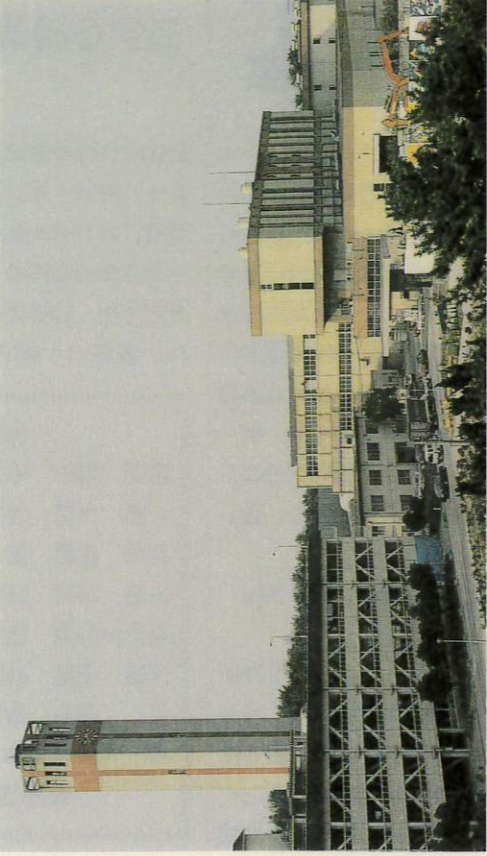
問 地方版エンゼルプラン策定の今後の取り組みは。
答 平成十年度は、子育て

環境

焼却炉の改造を ダイオキシン対策

問 環境清美工場のダイオキシン排出削減策は。

答 本市では、ごみ焼却施設の適切な運営管理等に努め、排煙一立方メートル当たりダイオキシン排出濃度は、五・〇三ナノグラム(ナノは十億分の一)であり、厚生省の示す暫定基準値八十ナ



更なるダイオキシン削減対策が検討される環境清美工場

アガイドの会を支援する。さらに、なら100年会館の開館を見据え、コンベンション誘致拡大策として開催準備資金を無利子で貸し付ける制度を導入する。
て支援に関する課題を検討する庁内検討委員会を設置し、児童の状況やサービス提供の現状把握に努めるとともに、子育てにかかる市民意識調査実施のための調査票を作成する。十一年度は、調査を実施し、調査結果をもとに子育て支援策の素案を作成したい。さらに、専門的な分野からの意見も聞きながら具体的な計画を立案し、早期にエンゼルプランを策定したい。

教育

家庭の教育力を高めるため 学校・家庭・地域の連携を図る

問 青少年、特に中学生の犯罪はとどまることがない。本市では、こうした事件は発生していないが、心の教育を推し進めるため、どのような努力をしているのか。
答 教育目標に「心豊かな人間の育成」を掲げ、人や自

然とのふれあいを通じた体験活動を進めている。平成八年度からは、福祉教育読本「わたしたちにできること」を小学五・六年生に配付し、思いやりの心を育てる教育やボランティア活動などに生かしている。心の教育の基礎基本は家庭教育にあると考えるが、家庭が心の安らぎを感じる場、社会性を身につけるしつけの場になっているか疑問のあるところで、その教育力を高めるため、学校・家庭・地域での教育の役割を明確にし、相互の連携を図りながら一層、心の教育の推進を図りたい。

遺伝子組み換え食品 安全性など懸念

問 遺伝子組み換え食品の輸入が始まり、食品の安全性や環境への影響が懸念されている。学校給食物資納入業者に対する指導はどうするのか。
答 遺伝子組み換え技術は確立された技術ではなく、遺伝子組み換え食品の安全性について消費者間に不安が広がっている。国において遺伝子組み換え食品の安全性が確認され、他の食品と区別する表示の義務付けがされるまでの当分の間、安全確保のため、国産品のみを納入するよう納入業者に指導していく。

その他の主な質問事項

- 市長の行政姿勢(情報公開等)
- 国の行革が市政運営に与える影響
- 不況の市民生活への影響
- 平成十年度予算について
- 随意契約等
- 女性管理職の登用
- 世界遺産登録
- 地球温暖化対策
- 環境基本計画策定
- ならまち振興
- 市ボランティアセンター
- 障害者プランの見直しと実施計画策定
- 手話通訳ボランティアの登録
- 授産品製作と常設店の設置等
- 少子・高齢化社会の福祉施策
- 特養ホームの待機解消等
- 介護保険制度
- 国連人権教育の十年
- 同和対策事業
- 保育所の情報提供業務等
- 保育料の引き上げ等
- 乳児医療等医療費助成
- ごみ減量計画
- ダイオキシン対策
- 新焼却炉の建設計画
- 南部土地改良清美事業
- 減反政策と森林資源の保護
- 農業の担い手育成
- 商工業の強化支援策
- 中小零細商工業対策
- 京阪奈新線への取り組み
- JR奈良駅付近連続立体交差事業の経緯と予定
- なら100年会館
- 青少年健全育成
- 有害がん具の規制
- 教員の資質向上
- 学校図書館の司書教諭
- 三十人学級の実現等
- 学校、園活性化事業
- 国際理解教育
- 余裕教室の活用
- 学校内の情報化
- 耐震診断の見直し
- 一糸高校の編入試験制度
- 水道事業(第六期拡張事業の見直し)
- 比奈知ダム負担金等の影響
- 東部地域等水道整備事業の進捗状況
- 白砂川重油流出事故
- サッカーくじ法案

竹内成之議員逝去 準議会葬で葬送

竹内成之議員(六十七歳、朱雀四丁目十三番地の十五)は、一月十一日、腎不全のため、入院先の病院で

逝去されました。一月十四日、多数の参列者のもと準議会葬を執り行いました。同氏は、平成七年四月に奈良市議会議員に当選され、一期目で、教育厚生委員、公営企業決算特別委員などを歴任されました。

介護保険の啓発

問 介護保険制度導入に向けての啓発の取り組みは。

答 平成十一年十月から介護認定請求が始まる。相談窓

市のシンボル制定

問 市の花、鳥、木のシンボル制定は。

答 市制百周年を記念し、自然環境の保護、緑のまちづくり、郷土意識の高揚を図るために、市民に親しみのある花、鳥、木を市のシンボルとして制定する。学識経験者で構成する懇話会を設置し、検討いただき、今秋にも制定したい。

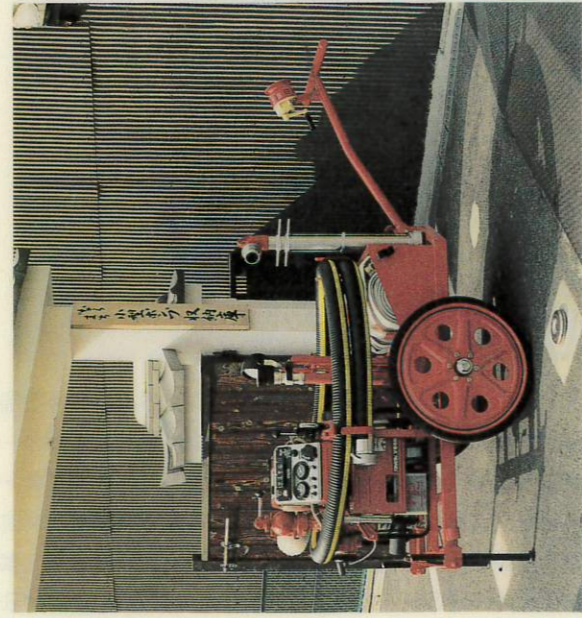
世界遺産担当部署

問 世界遺産登録後の組織体制は。

答 文化財の保存・継承のための業務、社寺との連絡調整、世界歴史遺産都市会議との連携を図るには、企画部内に専門の部署が必要と考える。また、都市計画から消防に至るあらゆる横の連携も含めたシステムづくりに取り組みたい。

予算特別委員会の審査概要

委員会は、三月十七日、十九日、二十日、二十三日、二十四日の五日間開き、付託された平成十年度予算案及び関連する議案の計三十六件について審査し、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。以下は、委員会審査での質疑の要旨です。



ならまちに配備されている小型ポンプ

ならまち消火体制

問 ならまちなど住宅密集地における消火体制は。

答 ならまちは、約五十メートルごとに消火栓を配置しているが、さらに小型ポンプの配備を増やしていく。今後は、地域住民による自衛消防隊や女性消火クラブ等の結成を進め、平素の防火・防災啓発とも合わせて、初期消火

口としての在宅介護支援センターに民生委員等の協力相談員がおり、相談員を通じて、要介護高齢者や家族に細かく制度を周知するとともに、相談に対応していきたい。

わかば教室の実績

問 登校拒否への取り組みの基本的な考えと、わかば教室の実績は。

答 登校拒否は、どの児童・生徒にも起こり得るとの視点で、総合的な角度から問題

余裕教室の転用

問 小・中学校の余裕教室を児童館、保育所、老人福祉施設等に転用しても良いという国の指針が出ている。本市でも保育所の待機児童の解消のため、転用を検討しては。

答 余裕教室は、各学校で、ランクルームやカウンセリング室等に有効利用している。保育所の待機児童の解消には、増改築により定員増を図っている。幼稚園、保育所の共用は、保育に支障のない限り、できることになっているが、運用面で問題があり、検討していきたい。

公民館への主事配置

問 公民館への社会教育主事の配置は。

答 公民館の職員に、毎年夏期に開催される資格取得講

余裕教室の転用

問 小・中学校の余裕教室を児童館、保育所、老人福祉施設等に転用しても良いという国の指針が出ている。本市でも保育所の待機児童の解消のため、転用を検討しては。

答 余裕教室は、各学校で、ランクルームやカウンセリング室等に有効利用している。保育所の待機児童の解消には、増改築により定員増を図っている。幼稚園、保育所の共用は、保育に支障のない限り、できることになっているが、運用面で問題があり、検討していきたい。

公民館への主事配置

問 公民館への社会教育主事の配置は。

答 公民館の職員に、毎年夏期に開催される資格取得講

焼却灰レンガ販売保留

問 ごみの焼却灰を利用したカラーレンガ、インターロッキングブロックは酸性雨により重金属類が溶出する危険性もあり、販売を考え直すべきではないか。

答 事業は、焼却灰の有効利用と障害者の社会参加の場を確保することを目的に進めており、施設的环境保全面にも十分配慮して運営管理を行っている。酸性雨に対する溶出試験結果は良好との報告も得ているが、安全性が確保できるまで、販売は保留したい。

- 予算特別委員
- 委員長 上原 雋
 - 副委員長 森田 一成
 - 権木 義秀 池田 慎久
 - 山中 賢司 藏之上 政春
 - 松村 和夫 矢追 勇夫
 - 山口 誠 船越 義治
 - 島崎 光治 松石 聖一
 - 田中美智子 小林 昭代
 - 横田 利孝

活動体制の強化を図りたい。

欠損金発生見通し

問 平成十一年度から水道

西大寺駅北再開発

問 近鉄西大寺駅北地区再開発事業は、計画決定から十年を経過しているが、いまだ地権者の合意は得られていない、事業を阻害している要因は何か。

答 土地価格の下落の影響、経済・商業環境の変化等が大きな要因として考えられる。

図書館の充実

問 図書館の充実は。

答 図書館建設は、北部地域に他の施設と合築の計画がある。他地域では、公民館の図書室を充実し、ネットワーク化することにより、図書館の充実を図りたい。

子供会補助

問 一定規模以上の子供会に対する補助は。

答 青少年を取り巻く社会環境は良好とは言えず、子供の地域社会での社会教育活動等は重要である。子供会が資金面で苦慮されていると聞いており、児童・青少年の健全育成上、施策的にどうあるべきか、再検討したい。

主な議決結果

三月定例会で議決したその他主な議案は、次のとおりです。

件名	結果
◇平成九年度一般会計ほか六特別会計、二公営企業会計補正予算 補正総額二億六二〇三万一千円の減、繰越明許費一億六三三〇万円	可決
◇市みそ会館条例の一部改正 JR奈良駅付近連続立体交差事業の施行区域内にある市みそ会館の廃止	可決
◇市勤労青少年ホーム条例の廃止 JR奈良駅付近連続立体交差事業の施行区域内にある市勤労青少年ホームの廃止等	可決
◇工事請負契約の締結 第十九号(桃園)市営住宅建設その他工事	同意
◇市特別会計条例の一部改正 市営JR奈良駅第一・一駐車場の供用開始に伴い、市駐車場事業特別会計を新設	可決
◇市立診療所諸料金条例の一部改正 身体検査証交付手数料等の引き上げ	可決
◇市火葬場条例の一部改正等(三件) 火葬場、青年の家交楽館、体育施設等の使用料の改定	可決
◇なら100年会館条例の制定 JR奈良駅前に建設中の(仮称)市民ホール名称をなら100年会館とし、管理及び使用料についての条例措置	可決
◇市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正 市消防本部の名称を市消防局に改め、また、中消防署北出張所を北消防署とする。	可決
◇教育委員会の委員の任命 大多一雄氏の任命 (久保田正一氏の任期満了による後任)	同意
◇監査委員の選任 河村武氏の選任 (玉川孝氏の退職による後任)	同意

編集後記

一面には鴻ノ池運動公園の桜の並木道で、さわやかな汗を流しながら朝のジョギングを楽しむランナーたちの写真を掲載しました。鴻ノ池運動公園の陸上競技場の外周は、桜の並木道を走るジョギングコースとして、多くのランナーに親しまれています。ちょうど満開となった桜の花の中、ランナーたちは楽しそうに走っていました。

本会議での質問、答弁 詳しくは 会議録の閲覧を

本会議での議員の質問や理事者の答弁内容を詳しく知りたい方は、市立図書館や市役所北棟五階情報公開室の行政資料コーナーで、会議録を閲覧してください。三月定例会の会議録は、六月中旬にできる予定です。

